施工証明書 兼 お客さま電気設備図面

・お引渡ししました電気設備について、関係諸法令に適合した施工であることを証明いたします。
・この証明書は、電気工事業の適正化に関する法律による帳簿を兼ねます。

お申込番号

証明設備	契約種別	電灯 / 電力 / 公衆街路灯 / 臨時電灯 / 臨時電力 / その他 ( )	工事種別	(新設) (増設)	住所		
			供給方式	単2 / 単3 / 3相 v			

お客さま名		お客さま番号		送電予定日 年 月 日			
		引込柱		上記日程で処理を進めておりますので変更のある場合は、速やかに連絡をお願いします。長期竣工が遅延した場合は、お申し込みは取り消しされたものとして処理をさせていただきます。(関西電力)			

施工電気工事店	住所	〒 (電話番号)	電気工事業法の登録番号		【主任電気工事士】 氏名	作業者	1 (免状No.)
	氏名	(印)	組合員証番号		【免状NO.】 第1種( ) 第2種( )		2 (免状No.)
							3 (免状No.)

工事着工日	年 月 日	申込調査	(要) 希望 月 日 時 / 調査 月 日 時
工事竣工(予定)日	年 月 日		希望 月 日 時 / 調査 月 日 時
竣工日	年 月 日	試験	(要) 完了 月 日
		竣工届出時申込内容の変更	有 無
		建物面積	延 ㎡ / 店舗 ㎡

お客さまの電気配線はこの図面のとおりです。配線の改修,修理等にご利用下さい。

S:1/

自主検査結果

自主検査
お客さまへの引渡し前に電気設備の技術基準に沿った設備であることを以下のとおり確認いたしました。
※自主点検は電気工事業法による規制はもとより、施工時の見落とし作業、手直し作業の防止を図り、工事品質を向上させるために行っております。

実施月日 年 月 日

検査者 | 主任電気工事士確認印 (印)

		検査項目	結果
1	絶縁(配線)	回路の絶縁抵抗は十分か	
2	絶縁(電気機器)	電気機器の絶縁は十分か	
3	配線設備	使用電線は適切か	
		配線方法は適切か	
		充電部が露出していないか	
		電線と他物の離隔は十分か	
		ラス・トタン貫通部の防護は十分か	
4	コード配線	屋内配線にコードを使用していないか	
5	配線器具(材料)	必要箇所に漏電遮断器を取付けてあるか	
		漏電遮断器の動作確認はよいか	
		漏電遮断器の取付は適正か	
		モーターの保護装置は適切か	
		開閉器の容量、取付方法は適切か	
6	配線器具(その他)	充電部が露出していないか	
		器具は破損していないか	
		器具は正しく取付けられているか	
7	接地工事	接地は取付けてあるか	
		接地抵抗値は適切か	
8	その他	引込小柱の施設は適切か	
9	端子締付	開閉器類の端子の締付けはよいか	

絶縁抵抗値測定			接地抵抗値測定		
測定箇所		測定値	種類	接地場所	測定値
全回路	L－L	MΩ	ED		Ω
	L－E	MΩ			Ω
		MΩ			Ω
		MΩ			Ω
		MΩ			Ω
		MΩ			Ω
		MΩ	EA		Ω
		MΩ	EB		Ω

白熱灯、HID灯	○	シャンデリヤ	CH	F40×2-3		接地端子付 〃	ET	リモコンリレー	▲	ルームエアコン	RC	漏電しゃ断器 過負荷保護付	BE	点滅器	●	電流制限器	L	HID灯(高効率放電灯)用安定器	TH
屋外灯		埋込器具	DL	非常用照明(蛍光灯)		防雨形 〃	WP	電動機	M	開閉器	S	漏電警報器	G	タイムスイッチ	TS	ベル変圧器	TB	配電盤	
引掛ローゼット		蛍光灯		誘導灯(蛍光灯)		調光器		コンデンサ		配線用しゃ断器	B	漏電火災警報機	F	電力量計	Wh	ネオン変圧器	TN	分電盤	
ペンダント		F40×2		コンセント		リモコンスイッチ	R	電熱器	H	漏電しゃ断器	E	フロートスイッチ	F	〃 (箱入り・フード付)	Wh	リモコン 〃	TR	制御盤	
シーリング・直付	CL	F40×2-2		接地極付コンセント	E	セレクタスイッチ		換気扇						変流器(箱入)	CT	蛍光灯用安定器	TF		

プルボックス		露出配線		素通し	
VF用ジョイントボックス		床面露出 〃		接地極	
点検口		地中埋設 〃		接地端子	
天井隠ぺい配線		立上り		接地センタ	EC
床隠ぺい配線		引下げ		受電点	

施工証明書を受領しました。

お客さま(ご署名) 年 月 日	建築会社・工務店さま(ご署名) 年 月 日

電力会社使用欄	
供給承諾	申込協議